

プログラム様式

田畑・園庭

プログラム名	森のしっぽとり	
対象年齢	4歳児	
メッセージ	木や枝、葉っぱには、いろいろな種類や違いがあることに気づく	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱや枝の感触、色、形、長さ、種類の違い ・それぞれの動物の特徴やその動物になりきる楽しさ ・見たり、探したりすることの楽しさ 	
参加者のめやす	幼児 25人	支援者 2人
実施時間	30分	
フィールド		
実施可能時期		
自然を感じるためのヒント		
時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:00	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の中から保育者の言う動物のしっぽに似たもの(自然物)を拾ってくる ①へび ②チーター ③きつね ④ねずみ <p>この動物はなに？チーター！じゃあ今からチーターのしっぽを探して、チーターになろう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが具体的に、それぞれの動物がイメージできるように、実際に動物のしっぽが写った写真を用意しておく。 ・感触や形、色、長さ、種類などに気づけるような声をかけたり、互いに見せ合ったりできる場面をつくる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のなりたい動物のしっぽになるものを探しに行き、動物になりきる ただし、条件としてみんなにしっぽが見える大きさ、長さのものを選ぶ 例：ジャンパーのすそから出るものなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのイメージに寄り添い、必要に応じて、声をかけたり、一緒にイメージを広げながらしっぽを探す。

年中

時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:10	<ul style="list-style-type: none"> ・しっぽ取りのルールを説明する ・2チームに分かれてチーム対抗であそぶ ・取ったしっぽは、チームのカゴに入れる ・しっぽを取られても、チームのカゴに入っているしっぽをつければもう一度あそべる 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に動きながら、ルールを知らせる。必要に応じて、個別に声をかけ、ルールが周知できるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・しっぽ取りをする(2~3回) <p>何に変身したのかな？キツネ！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者も一緒に楽しむ。 <p>しっぽをつけて、取り合いっこ。いそげー、逃げよう、取ろう</p>
0:20	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが集めてきたしっぽの中から、3つくらい選び、どの木の枝や葉っぱなのかみんなで探していく ・最後は自分のしっぽはどの木の枝や葉っぱなのか、1人ひとり探していく <p>いろんなしっぽを探しにいったよ。こんなんあったで。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その枝や葉っぱの違いや特徴に気づけるような声かけをする。 ・見つけた時に、その木の名前も知らせ、さらに興味が持てるようにする。 ・子どもたちが気づいた違いや特徴に共感していく。 ・今後のあそびもつながるような声かけをする。
	<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園以外の場所で、しっぽ取りをする。 ・しっぽ以外に、耳などを見立てて変身する。 ・しっぽとして見立てたものを、園に持ち帰り調べてみる。またそれらを育ててみる。 ・季節を変えて、見つけた自然物を使って、動物になりきる。 ・拾った自然物を季節ごとに分けて、比べてみる。 ・しっぽをテーマに1年間保育をする。(劇、製作、神様、生物飼育など) <p>家庭で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の近くで、しっぽになるものを探す。 ・なりきった動物を調べ、保育所で皆に知らせる。 	
	<p>準備物・教材等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物の写真 A3サイズで画用紙に貼る A3:へび、きつね、チーター、ねずみ その他:うさぎ、りす、ぞう、カバ、うま、ぶた、きりん ・しっぽを入れる浅めのカゴ(もしくは箱)×2 	

田畑・園庭

年中

